



## 災害から学ぶ

校長 並木 信治

長かった夏休みが終わり、学校には再び子供たちの元気な声に戻ってきました。夏休み中、家庭や地域でさまざまな経験を積み、それぞれに成長した姿を見せてくれています。各御家庭の御理解、御協力に改めて感謝申し上げます。

この夏は、私たちに改めて防災の大切さを考えさせる出来事が続きました。7月28日には熊本県で最大震度7を観測した「令和8年熊本地震」が発生し、多くの方々が被災されました。

平成28年に発生した地震の記憶もまだ新しい中、再度被災され、未だ困難な生活を強いられている方々に、心よりお見舞い申し上げます。さらに、8月には千葉県で記録的な豪雨により、多くの地域で想定を超える浸水や土砂災害が発生しました。

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。特に障害のある児童・生徒が学ぶ特別支援学校では、「命を守る備え」が何よりも重要です。本校では、防災訓練の充実はもとより、非常時の連絡体制の確認、食料や衛生用品等の備蓄、関係機関との連携など、一人一人の実態に応じた防災対策を進めています。また、子供たち自身にも、自分の身を守る行動や周囲の人と協力する大切さについて学ぶ機会を設けています。

9月は防災月間です。子供たち一人一人が防災について考え、命の大切さを見つめ直し、自分にできる備えを考える機会にしてほしいと願っています。熊本地震や千葉豪雨の教訓を忘れることなく、学校・家庭・地域が連携しながら、安全で安心な学校づくりを進めてまいります。

今後とも本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



## 防災訓練

生活指導主幹 三屋 みどり

7月10日(金)全校避難訓練実施後、高等部就業技術科1年生と肢体不自由教育部門高等部1年生が防災訓練を実施しました。

災害時を想定し、「衣」「食」「住」「助」の4つのテーマに沿って、両部門合同で訓練を行いました。「衣」の物資運搬訓練では、身近な毛布や衣類、棒などを使用して担架を作成し、人や荷物の運び方を学びました。「食」の災害備蓄品利用訓練では、災害備蓄食料の作り方を確認するとともに、災害時こそ食事が大事であり、「食べることは生きること」であると学びを深めました。「住」の就寝場所設営訓練では、段ボールを使った寝床の作り方に取り組み、不特定多数の被災者が避難所生活を送ることを想定しながら、「良好な避難所生活の確保」について考えました。「助」の応急手当訓練では、志村消防署と連携し、AEDの使用訓練を体験することで、「大切な命を救うために必要な行動」を確認しました。最後に、「首都直下地震」のシミュレーション動画を視聴し、今後30年間に80%の確率で起こると予想されている大規模災害への意識を高めました。

訓練を通じて、まずは自分の身を守る「自助」、互いに協力し合う「共助」の大切さについて学習を深める機会となりました。日頃の訓練の積み重ねが実際の災害時に必ず生きるとは言うまでもありません。生徒自身が自分事として訓練に真摯に向き合っていけるよう、今後も本校の防災教育を充実させてまいります。

## 職業に関する教科の紹介

### 「流通・都市農園芸サービスコース」の学び

コース主任 須貝 仁、曾我 大介

流通とは、生産者から消費者の「物や情報、金銭の流れ」のことを言います。志村学園での「流通」では、流通の基本的な知識を座学で学ぶとともに、物流センターやスーパーマーケットで授業内実習を行うなど、実践に即した学習をしています。

都市農園芸では、野菜や草花、観葉植物の栽培・管理、花壇の緑化管理を中心に農園芸における作業手順や安全配慮、基本的な農業教育を学習しています。春に東京都庁「都民の広場」の花壇に植える苗を育苗しました。



### 「ビルメンテナンスクース」の学び

コース主任 徳岡 壮平

ビルメンテナンスクースでは、基礎技術や知識を学び、チームワークを生かして校内清掃に取り組んでいます。3年時には、生徒自身が清掃計画を立てたり、依頼業務に取り組んだりしています。常に「顧客意識」をもつことを心掛け作業にあたっています。

多くの方に「ありがとう」と言われる仕事を目指し、今後も学びを深めていきます。



### 「食品加エコース」の学び

コース主任 西谷 由吏

厨房の学習では衛生面に配慮した安全で美味しい料理を提供すること、接客の学習ではお客様に喜んでいただける丁寧なサービスを学んでいます。食品加エコースで運営しているカフェドノヴィスは、1年間に10回のランチ営業と月に2回のカフェ営業をしています。昨年度からは肢体不自由教育部門ともカフェを通じて交流を行っています。ご来店いただいたお客様からの喜びの声を励みに、これからも学びを続けていきます。



### 「介護・コミュニケーションコース」の学び

コース主任 武田 亘生

介護では、洗濯や掃除などの環境整備を通して、言葉を掛け合いながらチームで働く力を身に付けています。また、定期的に高齢者の方と交流し、唱歌やけん玉を取り入れたレクリエーションを行っています。相手の目線に合わせてゆっくり話すことで笑顔や「楽しかった」という言葉をいただき、やりがいを実感しています。また、ホテル分野では、ホスピタリティを大切に、ベッドメイクや清掃・消毒、接遇を学び、清潔で安心できる空間づくりと丁寧な対応力を身に付けています。介護とホテルの学びを通して、相手の立場に立って考え、安心できる環境を整える力を高めています。

### 「事務・情報処理の学習」の学び

コース主任 牛田 淳子

様々な職場に行っても必要になるビジネスマナーについて学ぶとともに、パソコン作業や印刷・丁合等の事務系の職場で必要とされる作業スキルを身に付けています。丁寧に作業を進めることで、依頼していただいた先生方の笑顔や感謝の言葉、ときには、厳しい言葉を励みにして進められる学習となっています。特に、3年生では校内の先生方だけではなく、外部の機関からの受注業務にも取り組み、スキルアップとともにやりがいを感じられる学びとなっています。